さいたま市立浦和中学校　１学年　数学　　「資料の活用」

電子情報ボード・個人 PC を活用した指導

１　単元名

「資料の活用」

２　活用場面

教師が課題を提示したり、生徒が活動したりする場面で活用する。

３　活用のねらい

〇課題を電子情報ボードでわかりやすく提示する。また、課題に対して、必要な資料を収集・整理し、資料の傾向をとらえさせるために、パソコンの表計算ソフトを活用する。

ヒストグラムのかきかたを学ぶ

４　活用のポイント

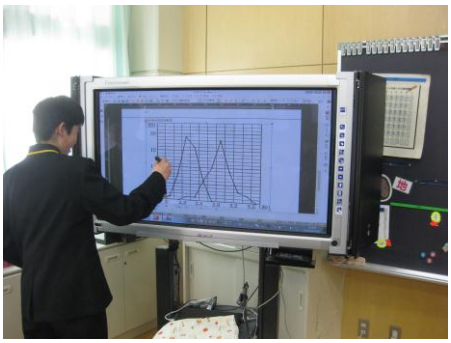
（１）度数分布の理解

〇度数分布表やヒストグラムについて説明するために、電子情報ボードを活用する。板書する時間を短縮することができる。

〇多量資料を扱う場合、手作業ですると間違うこともあり、時間や手間もかかってしまうが、表計算ソフトを利用すると効率よく処理することができる。

〇インターネットを活用することで、身近にある資料の度数分布から目的にあうように資料を整理する必要性を、関心をもちながら理解することができる。

（２）生徒がデータの分析に活用



〇資料を整理して傾向をとらえるときに個人PCの表計算ソフトを活用する。

〇個人 PC を利用することで相対度数などの計算を効率よく、間違うことなく計算することができる。

〇生徒が調べたことをまとめて、グラフで表すために表計算ソフトを活用する。

５　成果と課題

〇表やグラフなどの板書の時間を短縮することができ、生徒の活動の時間を多く確保することができた。

〇表計算ソフトを使うことで逆に苦労する生徒も存在しており、使い方を個に応じて指導する必要がある。